

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		通学路等学校安全対策事業費[スクールガード養成事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	5	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育総務 課 学務 係					課長名	斎藤 謙二郎					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書(ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	スクールガード等、子どもの見守り活動に携わっている市民					→ スクールガード講習会の参加者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	見守り活動に必要な知識、技術等を習得する。					→ ①登下校時の交通事故の件数 ②学校内で児童が被害を受けた事件の件数						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	スクールガード養成講習会等を実施し、見守り活動を行っているスクールガード等のボランティアの見守り力を高め、通学路や学校における児童の安全性の向上を図る。					→ 講習会等の実施回数						
	対象指標		①の数値	人	過去2年間の実績	平成31年度実績	令和2年度実績	当該年度	令和3年度実績	成果目標		令和4年度目標
成果指標		②の数値	件	過去2年間の実績	①0②0	①0②0	当該年度	①0②0	成果目標			
目 標		②の目標値	%	過去2年間の実績	0	0	当該年度	0	成果目標			
		目標値設定の考え方										
		スクールガードが活動することにより、児童が安全に学校生活を送ることができる。										
活動指標		③の数値	回	過去2年間の実績	1	1	当該年度	1	成果目標			
3 経費	事業費(実績)		円	25,500	24,000	22,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	8,500	8,000	8,000						
		特定財源(国・都・他)	円	17,000	16,000	14,000						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	415,500	419,000	412,500						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	441,000	443,000	434,500							
4 環境変化等	(1) 開始年度		13 年度									
	(2) 環境の変化		平成11年度までは、小学校9校13か所に学童交通擁護員が配置されていたが、平成12年度からは、信号機の設置されていない第七小学校の1か所を除き廃止された。それ以降は、地域のボランティア活動が見守り活動の中心となっている。 他府県において、登下校中の児童・生徒が事故に巻き込まれる重大事故が発生したことから、通学路の安全に関心を持つ保護者が増加している。									

事業名称	通学路等学校安全対策事業費[スクールガード養成事業]				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 通学時の見守り活動や安全確保については、議会からも一般質問等を通じて適切な運営等について要望がなされている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ <input type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法：③ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 特になし
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容(「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 各学校で組織されているスクールガードそれぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を引き続き行う。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 各学校において、継続した取り組みがなされるようにするためには、スクールガードの新たな担い手の確保が必要であることから、市ホームページや市報で活動内容を周知するとともに、スクールガードの募集を行った。 また、スクールガード講習会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面開催で実施した。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 各学校で組織されているスクールガードそれぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を引き続き行うとともに、スクールガードの高齢化に伴い、担い手が減少傾向にあることから、新たな担い手の確保に努める必要がある。
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名()
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 通学路の安全確保は、重要な問題であり、地域住民の関心は高い。今後も、ボランティアの方々の負担軽減に配慮しつつ、少しでも多くの方の見守りと活動への理解・協力が得られるように、ボランティア保険への加入や教育委員会だより等を通じてボランティア活動の紹介や担い手の募集などを行っていく。また、活動に必要なとされる知識・技術の習得と定着が図れるよう、講習会を継続して実施する。
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 スクールガードのボランティア活動を地域住民に広く周知し、理解と協力を得ることで、担い手の確保につながるよう、様々な広報媒体の活用や講習会を継続的に行う。